


咲かそう

いのち



春彼岸
はなまつり



先日、法華宗僧侶の修行道場である興隆学林専門学校に通っている後輩と会う機会がありました。建物は新しくなり、私が修行していた頃とは雰囲気も大きく変わっています。日隆聖人の願文は今も変わることなく毎日のお勤めの中で拝読されていました。

願文とは、仏様に対しての願い事であり、日隆聖人の願文は法華宗の僧侶、檀信徒が必ず抱き、願うべきことが示されています。そのはじめにある言葉が『発菩提心』です。菩提心を発することは、悟りを願う心、すなわち成仏を願う心を起こすことを意味します。法華経の功德によって、皆が成仏を願う心を持つようになってほしいということが、日隆聖人の願いであり、私たち法華宗の僧侶、檀信徒全てにとっての修行の第一歩なのではないでしょうか。

自分だけが救われるのではなく、誰かに頼るのではなく、法華経の功德を信じ、お題目をお唱えして皆の成仏を願うこと、それは日々の安泰を願うことにも通じます。

また、「発」は一念発起の「発」であり、気持ちを起こすことを意味します。成仏を願うという心をただ漠然と維持するのではなく、「いつもはじめ、いつもはじめ」であることを意識して日々気持ち新たに願いながらお題目をお唱えすることが大切であると日隆聖人は説いてくださっているのです。

今から五百年以上前の昔に日隆聖人が私たちのために
お示し下さった願文に思いを馳せつつ、皆でお題目を
お唱えしましょう。

